

令和8年3月吉日

世田谷区立松丘小学校

校長 臼井 潤一 殿

委員長 前川 薫

委員 高良 有佳

吉田 滋

### 松丘小学校学校関係者評価委員会アンケート調査結果報告書

松丘小学校学校関係者評価委員会では、本年度実施いたしました「学校アンケート調査」集計結果をもとに、当委員会としての所見を別紙の通り作成しましたので、ご報告いたします。

学校におかれましては、この報告書を今後の学校運営にご活用いただきますことを願っております。また、地域で子どもたちの成長の一端を担う者として、学校・保護者・地域が一体となって努力を惜しまず、益々松丘小学校の児童のみなさんが健全に成長していくことを委員一同願っております。

## 別紙

### 1 はじめに

#### 学校教育活動について \*保 3-(3)・児 3-(3) / 保 6-(1)・児 6-(1)

保護者アンケート「先生子どもの意欲を大切にしている。」の項目で90%以上の肯定的回答があり、児童アンケートにおいても同項目が87%が肯定的に回答していることは、うれしい限りである。「学校生活は楽しい。」の項目が、保護者アンケートは92%、児童アンケートは88%であることも、『子どもが主役の学校づくり』がおおむね達成され、理解を得られていることがうかがえ、大変素晴らしく思う。高評価であるが少数の貴重な意見にも目を向けながら、今後も真摯に教育活動に励んでほしい。

### 2 保護者と地域、児童による評価

#### (1)回収率について

今年度もオンライン回答のみとなった。保護者回収率は72%を超え、前年度の69.5%を上回り、オンラインになって以降年々上昇している。保護者の協力に感謝しつつ、今後もデータの精度を上げるために回収率を上げる方法を検討していただきたい。

#### (2)重点項目とする取り組みについて \*保 12-(1)~(8)

松丘小学校が重点とする取り組みについては、保護者・地域ともに全ての項目で肯定的評価が8割を超えており、ほとんどが9割を超えている。学校が重点的に取り組んでいることについて多くの方に賛同いただいていることが分かる。学校の考えを理解してくださっている方が多いので、その取り組みの実際を評価してもらえるように今後も努力をしていきたい。

#### (3)肯定的評価の低かった項目・内容について

##### ①キャリア教育について \*保 4-(2)・児 4-(1) / 保 4-(1)・児 4-(2)

「目標をもち、その実現に向けて努力をしている」「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」2つの項目とも、前年度より1~6ポイント上昇しており改善傾向がみられる。しかし依然として、項目によっては4割近い否定的回答があり、引き続きの改善や周知が必要である。キャリア教育とは何か、どの学習がキャリア教育なのか、学校の取り組みについて、具体的な説明と授業の実際について学校からのお便りやホームページ等で情報発信をすべきである。児童に対しても、具体的な言葉を使って、自分自身のキャリア（将来）について考える働きかけをすべきである。ポイントの上昇から、家庭や学校の取り組みがある程度児童に浸透しているのは窺えるが、努力の継続を期待している。

##### ②学び舎との連携について \*保 6-(3)・7-(2) / 児 4-(3)

昨年度との比較で、保護者アンケートにおいて「学び舎による幼稚園・小学校・中学校の

連携や交流活動が行われている」の項目は11.1%の上昇、「学び舎の区立幼稚園・中学校について情報が提供されている」の項目は15.3%の上昇であった。中学生の職場体験や小中合同の落ち葉はき、世田谷子ども駅伝において、優郷の学び舎チームが男女で好成績を残したこと、1,5年生の松丘幼稚園との交流など、ホームページや保護者会などでの情報発信が徐々に効果を表してきたといえる。しかしまだ「わからない」の回答が保護者・児童ともに10%以上あるので、今後も活動をしっかりと保護者や地域に伝えていくことが必要である。

### ③家庭学習について \*保6-(2)・児6-(3)

保護者の肯定的回答は昨年度より上がったが、児童の肯定的回答は4ポイント下がっている。児童は、塾での学習が7割近くいることから、宿題よりもそちらを重視している傾向があるかもしれない。学習内容の定着や学習習慣の確立など、学校の宿題の意義を伝え浸透させることも必要である。また、成長段階で大人の声掛けの必要な児童は多くいるはずである。家庭や学校で前向きな声掛けをお願いしたい。学校でも自主学習を行っている児童がいる。児童がすすんで学習を行えるような宿題や取り組みを今後も検討して欲しい。

## 3 次年度に向けての委員会からの提言

「自由進度学習」に学校全体で取り組み、子ども自身が目標をもち、自分の理解度や興味・関心に応じて学習を進めていく、次期学習指導要領改訂に向けた先進的な学びを実践していると聞いた。iPadを使った学習もTeamsやロイロノートといったアプリの活用を中心に定着しつつあるようである。普段の授業の中でも“せたがや探究的な学び”の充実や“教育DX”などの新しい教育活動に、さらに挑戦して欲しい。松丘小学校においても、世田谷区が掲げる“せたがやキャリア・未来デザイン教育”の推進を期待している。

また、学校公開や保護者会、運動会、展覧会と保護者の方が来校して、教育活動を見る機会があることも、学校にとってとても良いことである。年1回の本アンケートだけでなく、学校公開や行事ごとの保護者アンケートにも真摯に耳を傾け、その都度、教育活動を改善していくことも大切である。

自己評価での働き方改革の評価には若干の改善が見られたがまだ低いようである。さらなる対策を検討し働きやすい職場環境を実現してほしい。教職員が生き生きとしていることは、児童の育成にも繋がりととても大切なことであるので、先生方が翻弄されることなく子どもたちが憧れる存在であることを期待している。

今回も校長先生のリーダーシップのもと、教職員が心を合わせ組織的に、また工夫をして取り組んでいることがアンケート結果にも反映されている。地域も保護者も学校の教育活動を肯定的に評価し、松丘小学校を応援していることが読み取れる。肯定的評価の低かった項目については、工夫・改善の余地があると考え。ぜひ、今後もより一層よい学校になっていくよう努力されることを期待している。